

報道関係各位

三菱地所株式会社

一民間企業として初めて、皇居外苑のお濠由来の生きもの再生にチャレンジー
皇居外苑濠の水辺環境改善活動「濠プロジェクト」始動
皇居外苑濠の水草や生物を採取・保存

三菱地所株式会社は、皇居外苑濠における水辺環境改善および生態系の再生を目的に、民間事業者として初めて皇居のお濠由来の希少な水草や生き物などの保全を行う CSR 活動「濠プロジェクト」を始動、2018年5月19日（土）に当社本社前の大手濠で生きもの採取を実施しました。

皇居外苑のお濠の水辺環境は、近年水質悪化によりアオコや藻類が大量発生し、元来の水草類が自然発生できない状態が続いていました。水中生物の棲家・食料ともなる水草が育つような環境を整備し、多様な生物が暮らす豊かな水辺を取り戻すことが喫緊の課題です。

当社は、丸の内エリアを取り巻く皇居外苑濠の環境保全に一層寄与するため、2017年10月に環境省と「皇居外苑の自然資源活用に関する協定」を締結し、皇居のお濠を中心とした水辺環境復元と生態系ネットワークの構築を目指しています。

本協定のもと始動した今回の「濠プロジェクト」は、環境省、公益財団法人日本自然保護協会、東邦大学理学部保全生態学研究室（西廣 淳准教授）、千葉県立中央博物館などの NGO や専門機関と連携した取り組みです。5月19日に実施した生きもの採取では、実際に当社社員が環境省の許可を得てお濠（大手濠）内に立ち入り、水草や小型魚類・エビ類・貝類などの生物、お濠の泥を採取。これらを当社所有ビルの屋上に設けたコンテナビオトープに移植し、観察の上復元と保全を目指しています。

今後、成長した水草類・生物は、将来的に当社が管理・所有するビルの人工池等に導入し、皇居の自然の代替地としての機能を持たせ、エリアのワーカーや来街者に広く周知する機会を持つことで水辺環境の再生の普及啓発活動を行っていきます。

当社は、皇居至近の丸の内エリアにてオフィスビルの開発を進めており、現在は約30棟の建物を所有・管理しています。街づくりを通じて地域社会に貢献すべく、これまでもビル敷地内での生物多様性保全に配慮した緑地整備や、お濠の水の浄化設備をオフィスビルの地下に導入するなど、環境共生に関わる様々な取り組みを実践してまいりました。

今後も、当社ならではの事業を通じ、積極的に環境・生物多様性保全への貢献を進めてまいります。



水草や生物の
採取活動



採取した
水草・生物



コンテナビオトープでの
生育(一例)



■ ビル屋上に酒樽を再利用した
ビオトープを設置、採取した生物を
生育。

育成した
水草・生物



ビル敷地内緑地・
人工池等へ放流

- 三菱地所が開発したビル敷地内の緑地や人工池に生育した生物を放流
- 皇居外苑濠の自然環境の代替地を形成
- エリア就業者や来街者に向けた普及・啓発を目指す

■皇居外苑濠の水辺環境について

皇居外苑濠は、近年の水質悪化や環境の変化により、水草などの生物相が貧弱であり、本来あるべき種の自然発生や定着が難しい状況にあります。

■皇居外苑濠での泥や水草などの生物採取活動

「濠プロジェクト」では、水草や生物のほか、お濠の底に沈む泥も採取しました。この泥には、現在のお濠の水質・環境では自然発生が難しいとされている水草の種子が含まれています。また、かつてお濠で生育していたものの、消失してしまった種の種子も含まれている可能性があります。これらの種子は、適切な環境下に移すことで、再度発芽することが期待されます。

■採取した水草、水生生物、泥の保存

採取した水草や水生生物、泥は、当社が所有・管理する「大手町ビル」屋上の酒樽を再利用したコンテナビオトープに移植。観察の上生育します。

■保全・復元した水草や生物の今後

保全・復元した水草や生物は、当社が開発するオフィスの敷地内にある緑地や人工池等に導入し、皇居の水辺環境の代替地としたうえで、お濠を中心とした水辺環境復元と生物多様性ネットワークの拠点をつくり環境保全に寄与します。

- ・導入時期：2018年7月実施予定
- ・導入場所：大手町パークビルディング ホトリア広場
(所在：東京都千代田区大手町 1-1-1)



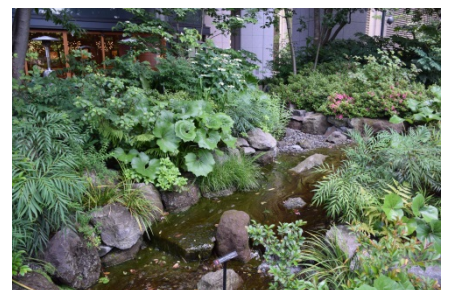
・濁ったお濠の水面の様子（桔梗濠）



・採取したお濠の泥をビオトープに移す様子



・ビオトープ内の水草の様子



・現在のホトリア広場の様子